

北小岩江戸川町会

No.31

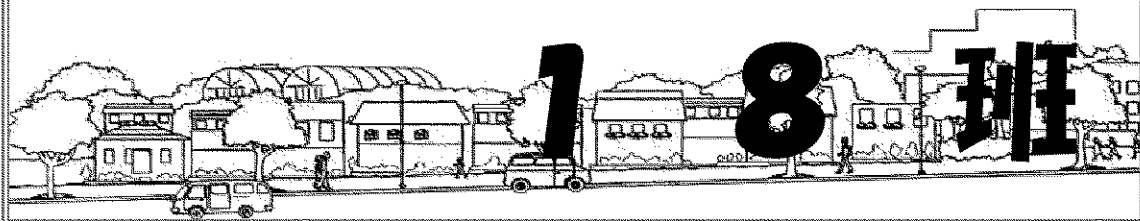
2009/2/6

江戸川区土木部

沿川まちづくり課

推進第一係

TEL 5662-6735



まちづくり説明会を開催しました

日頃より区政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

2月1日(日)小岩アーバンプラザで、まちづくり説明会を開催いたしました。たくさんの方にお越しいただき、どうもありがとうございました。

今回は、説明会の内容について主なものを掲載いたします。

当日の内容

- ・江戸川区としてのスーパー堤防の必要性
- ・まちづくりの必要性
- ・まちづくりとスーパー堤防の一体整備の必要性
- ・現在の事業の進捗状況と考え方
- ・今年度の皆さまからの主な意見
- ・今後の予定
- ・地質調査と横断測量（国土交通省より）
- ・質疑応答



※会の冒頭、「今回の説明会の目的は」という質問に対して、昨年まで地域の方（考える会や推進してほしい方々）との意見交換会を三回ずつ行い、このことを全体的に総括し、今後どう進めていくかを皆様とお話させていただくため、会を開催したことを説明しました。

江戸川区としてのスーパー堤防の必要性について

超過洪水が発生しても堤防が決壊しない幅広で頑丈なスーパー堤防は、Om地帯の多い江戸川区にとって、全区民の生命・財産を守り、将来にわたって安全・安心のまちづくりの生命線であると考えています。

まちづくりとスーパー堤防の一体整備の必要性について

スーパー堤防と一体で整備することによって、階段道路や行き止まりなどの現在のまちの課題を解消することができるバリアフリーのまちづくりが可能になると考えています。

また、スーパー堤防で盛土することにより、のり面（土手や道路などの傾斜部分）を道路などの公共用地の整備にあてることができ、皆さまの負担軽減につながると考えています。

用地の先行取得について

長期の仮住まいや二回の引越しに耐えられないという方の要望により用地を先行的に買収しています。この用地は皆さまの負担を軽減するために使用していきます。

補償額（概算）の算定調査について

戸別相談の中で、補償額が分からないと将来の生活設計をたてられないので早期に調査をやってほしいという要望が多数の方から寄せられました。そこで、21年度より、希望する方を対象に、補償概算額についての調査をいたします。

申し込みについては、準備が出来次第、まちづくりニュースでお知らせします。

地質調査と横断測量について （国土交通省より説明）

この調査を実施することにより、北小岩一丁目東部地区における具体的な施工期間を皆さまにご説明することができるようになります。

ご理解とご協力をお願いいたします。



質疑応答

- ・反対者が最後まで移転しない場合どうなるのか。移転期間が長くなるのでは。
→（区）そうならないように、建物調査などで戸別にお話をさせていただき、一軒一軒真剣に伝えていきます。
- ・盛土に変なものを混ぜられてしまうかもしれないのでは。
→（国）盛土に使用する土は土壌調査を行い、例えば六価クロムやダイオキシンなど混入した土は絶対に持ち込みません。

意見

- ・まちづくりのみ行くと危険が多いまちになるので、スーパー堤防一体整備は必要では。
- ・いつまでも待てない。はやくやってほしい。行政判断をすみやかにすべきだ。
- ・水害の事もそうだが、火災の事を考えると今回の事業は必要である。
- ・スーパー堤防とあわせてまちづくりをすると負担が減るとするのはメリットである。
- ・反対者の意見もよく聞いて不安を解消してほしい。
- ・地質調査に国が来ていないのはおかしい。
- ・区はいい面のみ説明しているが、マイナス面もある。
- ・日建ビルの買収など、住民の意思決定が決まる前に買収するやり方はどうなのか。
- ・考える会発行のニュースは、区のニュースと似ていてどちらかよく分からないので、同じものを使わないでほしい。

<お問い合わせ先> ご意見・ご質問はこちらまで

えんせん

沿川まちづくり課推進第一係 TEL 5662-6735

【URL】 http://www.city.edogawa.tokyo.jp/sec_ensen/index.html

